

# 絵本と子育て事業

絵本を通して

心のふれあいを

平成15年6月から、図書館、健康推進課、子育て支援課が連携して「絵本と子育て事業」を行っています。

この事業は、「3〜4ヶ月児健康診査」を受けに来た赤ちゃんと保護者に対して、絵本やおすすすめ絵本リストなどの入った絵本バッグをプレゼントするというものです。その際、講師と図書館児童サービス担当職員が、読み聞かせの指導や絵本のアドバイスをしています。

赤ちゃんには、ミルクをのんで大きくなるのと同時に、心を育てるため、たつぷりの愛情と抱っこなどのスキンシップや優しい語りかけが大切だといわれています。乳幼児期から絵本に接することによって、豊かなことばと出会い、そしてそれは情操面の発達にもつながっていくことでしょう。

4年目を迎えました。これまで約四五〇〇組の赤ちゃんと保護者の方にご参加いただきました。アンケートでは、98パーセントの方から事業に対して「よい」

# 本を結ぶサービス



絵本バッグ

との評価をいただいています。この事業によって少しでも、子どもと保護者に、絵本を通じての心のふれあいや、一緒に過ごす時間の楽しさ・大切さを知っていただければと思っています。

市内各図書館では、前述したおすすすめ絵本リストに紹介されている絵本のコーナーや、赤ちゃん絵本のコーナーを設置しています。また、乳幼児を対象にした「おはなし会や講演会を開催するなど、赤ちゃんと保護者に対するサービスの充実をめざしています。

3年前、事業を開始した時は赤ちゃんだった子が、今は、図書館で気に入りの絵本を探す姿を見かけます。お母さんが「あの時の絵本、大好きな

んですよ」とおっしゃってくださるのを耳にすることもあります。この事業をひとつのきっかけとして、本に親しめる子どもにも成長していつか、親しめることを願っています。

## おはなし会・人形劇公演

本に親しむ

きっかけづくり

図書館は、年間を通していろいろな行事を行っています。

定期的に行っているのが、おはなし会です。館によって実施回数や内容は異なりますが、主に乳児向けと幼児向けがあります。絵本の読み聞かせや素ばなし、手遊び、簡単な工作などを行っています。また、特別企画として、夏のおはなし会・クリスマス会も実施しています。

図書館児童サービス担当職員だけでなく、児童館職員や読み聞かせボランティア団体といった地域ぐるみの連携・協力があつて、おはなし会は成り立っています。

そのほかにも、今まで、人形劇の公演・おりがみ教室・科学あそび・絵本のキャラクターを実際に作る講座などを行っています。人形劇の公演の時は、関連する本の紹介などもしています。

行事に参加して、ものがたりの楽しさを発見したり、知識を広げたり

する体験を通して、本に親しみをもってもらえるよう、企画しています。



おりがみ教室

## 一日図書館員

体験を通して

図書館を知る

毎年、夏休みの初めに小・中学生を対象に行っている一日図書館員は、二〇〇〇年の子ども読書年を記念して始まった事業です。

小学生は4年生から6年生、中学生は1年生から3年生を対象に募集しています。

今年の全参加者は、小学生が55名、中学生は4名でした。小学生の申し込みは、年々増加していますが、中学生は減少しています。中学生は、職場

# 子どもと ～児童サ

体験で図書館実習  
をすることが多く  
なっているので、  
その影響もあるか  
もしれません。  
子どもたちは、  
名札とエプロンを  
つけ、仕事の説明  
を受けたあと、職  
員の指導のもとに、

カウンター業務や、書架整理、事務等  
を手伝います。館によっては、本の装  
備やおはなし会への参加、書庫の見  
学等を行っています。

コンピュータを使う仕事も多いの  
ですが、子どもたちはすぐにパソコ  
ンを使いこなし、テキパキと作業を  
してくれます。個人情報の取り扱い  
や、守秘義務については、十分な説明  
を行った上で、できる範囲の仕事を  
してもらっています。

実際の体験時間  
は、午後の3時間  
ほどなので、あつ  
という間に終わっ  
てしまいます。ど  
の子どもの足りな  
いようで、「まだや  
りたい」「来年も申  
し込むから」とい  
う感想は毎年聞か  
れ、十分に楽しん  
だ様子が見えがえ



一日図書館員

ます。参加した子どもたちには、修了  
証と記念写真が手渡されます。  
子どもたちの楽しい社会体験とな  
るとともに、図書館のしくみを知っ  
てもらい、さらに図書館を身近に感  
じてもらえる機会にしたいと考えて  
います。

## 冊子の発行 ～新しい本・面白い本の紹介～

児童・生徒を対象とした発行物を  
紹介します。これらは、子どもたち  
本への興味と関心をもってもらうた  
めの情報提供を目的としています。

小学生向けには、年3回、『ドキド  
キわくわく』を発行しています。児童  
サービス担当職員がすすめる新刊書  
を、低・中・高学年別に選んで紹介し  
ています。また、年

度初めには、新一年生へ向けての特  
別版『ドキドキわくわく一年生号』  
も発行しています。  
『CATCH(キャッチ)』はYA世代向けで、年3回  
発行しています。  
利用者の投稿記事  
と、YAサービス  
担当職員がすすめる本の紹介などで

構成されています。推薦した本を手  
に「面白かったよ」と言って図書館  
に来てくれる子どももいます。  
また、年1回発行の『夏休みすい  
せん図書』、『宿題のしらべかた』も  
あります。いずれも各図書館で配布  
しています。



## 夏休みすいせん図書 ～子どもと本の出会い～

図書館では、毎年、夏休みに、小・中  
学生を対象としたすいせん図書を選  
定し、市立小・中学校の全児童・生徒  
にそのリストを配布しています。

すいせん図書の選定は、児童サー  
ビス担当職員が行っています。一年  
間かけて読んだ本の中からすいせん  
図書の候補を蓄積しておきます。そ  
の中から、担当職員で検討を重ねて、  
子どもの発達にあわせ、年齢層ごと  
に、戦争をテーマにした本、絵本、日  
本の作品、海外の作品、ノンフィクシ  
ョンのバランスを考えて、選んでい  
ます。また、新しいものに限らず、ぜ  
ひ読んでもらいたいものを幅広く取  
り入れています。  
年齢層ごとに、今年、よく読まれた  
本を紹介します。

小学校1・2年生では、少年が両親  
の離婚後、久しぶりにパパに会って  
楽しい一日を過ごす『パパはジョニ  
ーっていうんだ』、小学校に赤ちゃん  
が遊びに来て、ふれあう様子が描か  
れている『あかちゃん教室内きた  
よ』でした。3・4年生では、トイレで  
おしりを噛まれる事件が町中起き  
る『オシリカミカミをさがせ!』、小  
学4年生のジェニーがねずみになっ  
たつもりで下級生に手紙を書いたと  
ころ、不思議な返事が返ってくる『ひ  
げねずみくんへ』でした。5・6年生  
では、少年が動物の言葉がわかる『お  
りの中の秘密』、牛と羊とねずみが農  
場を抜け出し冒険をする『にげろや、  
にげろ』でした。中学生では、中2の  
女の子が一九四五年八月の原爆投下  
直前の広島にタイムスリップしてし  
まう『八月のすきまに』、もしヒット  
ラーに娘がいたら?と戦争と家族に  
ついて考えさせられる『ヒットラー  
のむすめ』でした。  
本は満遍なく借りられています、  
特に低・中学年がよく借りていまし  
た。  
なお、これらのすいせん図書は、昨  
年までのものも含めて、各図書館で  
「すいせん図書コーナー」に常設して  
います。夏休みの間は、このコーナ  
ーからも多く借り出されていました。  
これからも子どもたちに楽しい本  
を紹介できるように、いろいろな作品  
を発掘していきます。